

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【北浦和小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」に関する領域において1pt向上させる。 (R5年度全国学力・学習状況調査の国語・算数の「知識・技能」に関する領域において全国平均を上回る。)	⇒ 「ドリルパーク」や「スタディサプリ」を授業と連動させて活用し、漢字や計算等の復習だけでなく、下学年の単元の学び直しにも取り組む。また、自主学習等を取り入れながら、個別最適な学びの充実を図る。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」に関する領域において1pt向上させる。 (R5年度全国学力・学習状況調査の国語・算数の「思考・判断・表現」に関する領域において全国平均を上回る。)	⇒ 論理的思考力を育成するため、授業の中に意図的に話し合いの場を設けて学び合いを深める。その手段としてミラシードのオクリンクやムーブノートを適宜活用するなど、思考や表現の幅を広げる授業を展開する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問事項において、肯定的な回答の割合を90%以上にする。	⇒ 全ての授業において、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を設定する。また、プログラミング学習を充実させ、児童のプログラミングへの関心を高める。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-6.8pt、算数+4.2ptであった。国語では敬語の正しい使い方、算数では正三角形の意味や性質、百分率で表された割合において課題がみられた。授業での継続学習や立式の意味についての理解を深める。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+0.3pt、算数+2.1ptであった。国語では問題文より自分の考えを書く問題、算数では三角形の面積や棒グラフの読み取りにおいて課題がみられた。各資料から読み取り、考えを書く活動を重視する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査の「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の肯定的な回答の割合は93%だった。学習環境が整い、充実した学校生活を送ることができている。今後も継続できるよう、より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし